

- 10 問7、問8、問9で回答された活動や行事での子どもの参加状況はいかがですか。
(複数回答可)

①決まった子が参加	②活動や行事によってそれぞれ	③直接声かけした子が参加	④自主的に参加	
5	7	6	10	未記入6

- 11 子どもを対象とした活動や行事を行う際の貴自治会での課題や、課題解決のために取り組まれていることがあれば、具体的にご記入ください。

- ・納涼祭りやどんど焼きなどで子どもが食べられる物を用意するように心がけている。
- ・昨年度までは子供神輿は、子供祭典幹事と役員で計画し子供の参加募集をしたが、集まりが悪く親御さんも非協力的であったため、今年度から子供祭典と称し小学生と親御さんが会員となり、各種行事への参加や準備を進めるようにしたので、その結果を見て今後役に立っていきたいと思う。
- ・自治会内登下校等防犯等において令和6年度神奈川県警察本部長を受ける。
- ・自治会としては、子どもと大人高齢者交流を大切にしている。開催日時設定の際、子ども、小中学生行事とだぶらないよう配慮している。子どもの登下校時活動検討しているが参加者が難しい。
- ・子どもが少なく、子ども対象活動ができない。中学生2名のため。
- ・参加する子どもが同じ。不参加の家庭がある。菓子、賞品を出して参加を促している。
- ・参加した子どもにお菓子を配付している。親と一緒に参加していただくよう回覧で周知している。子ども参加できる事業の実施項目に苦慮している。
- ・子どもの人員数の減少。昔は子ども会が対応していたが・・・。
- ・中心となる大人が高齢者。子どもの興味わからず。
- ・特に中学生の参加は、中学校及び部活動の顧問の理解と協力が必要。
- ・少子化で参加する子どもの数が極端に減少している。また、超高齢化により、指導する大人の数も減少している。
- ・子どもが少人数のため、いつも決まっている子が参加。友だちの友達に声掛け！
- ・子どもが少数となり、約10年前に子ども会が解散になった頃より、子どもが中心に行っていた「七夕まつり」や「どんど焼き」などを大人が継承しており、真の意味での子どもを対象とした活動や行事は実態として行っていない。
- ・子どもの数が把握できないこと
- ・小学生は1名だけ、以外は成人です。

<考察>

- 自治会によっては、地域に子どもがいないという現実がある。そうした中で、各自治会が工夫をして行事を行っている様子が伝わってくる。同時に、そうした行事をどう行うか苦慮されていることもわかる。
- 役員の高齢化が大きな課題となっている。
- 子どもの予定に配慮しながら自治会の行事を組もうとする様子もうかがえる。
- 自治会の行事に子どもの参加を促す際は、学校との連携・協力がどうしても必要である。
- 参加について、地域差がある。
- 自分の地域・自治会だけでなく、他の地域にも参加出来る雰囲気があるとよいと考える。
- 伝統行事は、できるなら残して子どもに見せられるとよいと考える。
- 既存の行事の対象者を広げるのも一つの方法ではないか。